



釧公大だより

# Aあうろーら



平成25年度 学位記授与式 (平成26年3月22日)

**東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。**

この震災により入学金や授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。

ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

## CONTENTS

- 学長メッセージ…………… 2
- 学部長・附属図書館長メッセージ…………… 3
- 退職者のことば・新任教員紹介…………… 4
- 留学を終えて・大学ニュース…………… 5~6
- 学生のページ…………… 7
- 就職戦線最新情報…………… 8



## 答えのない質問から始めよう

釧路公立大学学長 高野敏行

3月22日に学位記授与式を挙行し、320名の卒業生を送り出しました。この日の釧路は前日までの荒れた天候が一転し、暖かな青空に恵まれました。毎年のことですが、本学の卒業生の明るく、のびのびとしたムードはいいものです。

告辞では、自分をしっかり見ることを忘れないでほしいと話しました。大学で学んだことを生かせ、可能性を発揮しよう、社会で使命を果たそうといった、いわば外とのかかわりの拡大を呼びかけて、はげまし、駆り立てるよりも、長持ちする言葉を贈りたかったのです。

現在の日本では若者たちの目を外へと向けさせる力が強くなっています。本人が黙っていても、本、雑誌、テレビ、インターネットから情報が押し寄せます。興味を掻き立て、欲を抱かせ、あせらせて、学ばせ、遊ばせようとしています。外への目を閉じさせません。さまざまなかたちで教え込もうとする圧力が強くなっているのです。

それに比べると、内を見よう、自分を知らうという課題は放置されているようです。人生の先輩である大人たちも、「自分を考える」ことの重要性を語らなくなっているように思われます。大人もその重要性を忘れているのかもしれませんが。こんなことを思うのは、私が「哲学」の講義を担当しているからなのでしょう。なにしろ哲学の主要課題はソクラテスの時代から、「私とは何か」なのですから。

ここでは、自分を考えるのに役立つ（と私が思い、授業で活用している）工夫をお示しします。もしも関心が湧いた方がおられたら、ぜひやってみてください。

まずは準備体操として、「正解のない質問」を作ってみましょう。多くの人は、すべての問題にはどこかに100点満点の正解があると思いがちです。でも、実はそうではないことに、人生に迷ったときに思い知らされます。進学、就職、結婚をめぐる問いへの答えに点数をつけられるはずがありません。そもそも正解がある問題とは、自分のための問題ではなく、誰が解いてもいいという意

味で、誰のためでもない問題なのです。

さて、正解のない質問を作ろうとすると、自分を含めた質問こそがそうだと気づきます。例を挙げるならば、「私の最初の記憶は」、「私が幼いころに信じていた馬鹿げたことは」などです。こうした質問をいくつも作り、それに答えようとして自分に目を向けることが、準備体操なのです。

つぎには、自分の記憶の中にある、好ましい自分を思い出してみます。たとえば、「\*\*に感動していた私」とか「・・・の幸福を願っている自分」です。

ここでは例として、「絵を描くことを楽しんでいる自分」というのを思い出してみます。そこには絵を描く自分の姿と楽しんでいる自分の心のふたつが見えます。そのふたつのうち、楽しんでいる自分の心に注目します。どうして、どんなふうに楽しいのか、ということに注目するのです。そのあとさらに、別の何かを楽しむ自分を思い出します。こうして、楽しんでいる自分をいくつも眺めるうちに、どちらがより自分らしい自分なのか見えてきますし、ときには、自分の感じている楽しみはテレビ番組に刷り込まれたものであると気づいたり、楽しみだと思っていたが、実は自己顕示欲の現われだったということに気づいたりすることもあるでしょう。

ここまでくれば、多数の「楽しむ自分」の記憶の中から、自分が好ましいと感じる自分の状態をかなりはっきりと思い浮かべられます。私は、その状態の先に「自分が理想とする自分」がいます。それは、他人や外の制度や状況に押されていない自分という意味で、「自由な自分」と思っています。準備運動からスタートして、かなり先まで来ました。ここから先はここまでたどった人には自ずと見えてきます。がんばりましょう。

若い人には、「理想の自分」を考えるとという経験をして、そのことで自信をもって生きてもらいたい。これを4月の新入生たちにも伝えたいと思っています。

## 学部長メッセージ



### 学部長に就任して

釧路公立大学学部長 高嶋 弘志

附属図書館長の任期終了とともに、今度は学部長の重職を担うことになりました。少しは楽をさせてもらえると期待していたので、かなり戸惑っています。

本学が開学して25年が過ぎました。人間でいえばほぼ一世代にあたります。初期の卒業生はすでに社会の中堅どころか重鎮として活躍していることでしょう。この間、日本の社会も経済も大きく変化し、大学を取り巻く状況は様変わりしました。長い不況と少子化の波は公立大学だからといって安閑としていられる状態ではなくなりました。

数年前まで本学の入学生は道内4、道外6の割合でしたが、本年度は逆の6：4になりました。昨年訪問した札幌市内の高校でも、異口同音に学生の「地元志向」が語られました。本学への入学者が多い東北でも同様で、その傾向は大震災以降一気に強まったようです。

もう一つは新設大学が増えて、本学の魅力が埋没してしまった感があります。地元には知られていても、札幌圏や道外で本学を正しく認識している高校生は少数に過ぎないことを自覚しなくてはなりません。釧路という

街も札幌からは峠を越えていくところで、実際の距離感以上に遠いというイメージが強いことも事実です。釧路および釧路公立大学を広くアピールすることが今まで以上に必要となるでしょう。

先日の週刊誌に地方国立大学卒業生の「正社員就職率」ランキングが掲載されていて、上位20校の16位に本学が数えられていました。その数字には多少の説明が必要だとしても、本学が就職指導に力を入れてきた成果が表れたものだと思います。右の編集子は、地方国立大学は「ずぶとい学生が育つキャンパス」と評価しています。小さな地方大学ですが、その分学生と教職員の距離が近く、親身な指導ができるという利点は本学の強みです。親元を離れてたくましく育つ学生を支援したいと思います。

25年経って学生の雰囲気も変わりましたが、同僚教員もずいぶん若返りました。これら若い能力を結集して、小さな大学だからこそできる取組みを着実に進めることが肝要です。微力ながら貢献できればと思います。

## 附属図書館長メッセージ



### 図書館長に就任して

釧路公立大学附属図書館長 白川 欽哉

皆さんが、図書館と最初に会ったのはいつ頃でしょうか？多くの方は、小学校の校舎の奥に配置された静かな空間を思い浮かべることでしょう。整然とならぶ書棚から、タイトルに惹かれて手に取った本に夢中になった経験をされた方も少なくないはず。図書館は未知の世界を探訪する場であったに違いありません。

夢や空想を駆り立ててくれた図書館も、大学に入る頃には自分の関心事のために目的意識を持って使う空間に変わります。私の場合、ゼミ討論の事前打合せ場所として、あるいは就職や資格試験の勉強場所として活用していたことを思い出します。

その後、研究・教育の世界に足を踏み入れ、図書館との縁はますます深くなった私ですが、名誉職である館長の職務を拝命することになるとは予想だにしていませんでした。自由気ままな一人の利用者として図書館と関わってきた私は、一転して来館者の関心や要望に応える責務を負うことになったわけです。幸いなことに本学には経験ある方々が蓄積したノウハウがあります。それを

頼りに自身の成長をはかっていくつもりです。

その手始めは、本学図書館の基本的な特徴を掴むことでした。開学以来、釧路公立大学では経済・経営に関する国内外の専門書・雑誌・電子書籍はもちろん、広く教養全般にかかわる書籍が揃えられ、これまでに約22万冊を所蔵するに至っているとのこと。とくに社会科学関連の専門書（日本十進分類法300～399）については道東地域最大であり、多くの利用者の来訪を待っているところです。購入ないし寄贈された文献のなかには、近代・近現代の地域史研究にかかわる貴重なものも含まれています。また、アイヌ文化の過去と現在に関連する文献も増えつつあります。

代替わりの私に課された課題は、そうした特色を継承し積み上げていくことですが、他方で時代の要請にあった新たな図書館の内容と機能について考えていくことも必要です。教職員や学生、学外の利用者の声に耳を傾けながら、魅力ある図書館にしていくことを目指したいと思います。

## 退職者あいさつ



### 記憶・忘却

前教授 椋 優

昭和63年（1988年）に本学の開学と同時に着任しました。開学時からの生え抜きスタッフは、今では10人に満たない少数派となりましたが、当時の助教授や講師の中では（小林和夫先生を除くと）最初の定年退職者となります。本学での26年間を思い出そうとしても、最初の頃の記憶ばかりが鮮明で、その後のことはおぼろげにしか覚えていないことに驚いています。いわば中抜けの記憶です。

最初の年は当然一年生しかおらず、教員研究室も空室が目立っていました。書類の整理をしていると、第一期生の出席簿や成績表が出てきてなつかしく、奇妙な感慨に耽っていましたが、これら教務関係の書類もなぜか初期のものと最近のものばかりで、途中が抜けていました。この間にさまざまな出来事が生じたはずですが、始点と終点ばかりを生き生きと思い起こしている（これを現象学の用語で準現在化といいます）せいか、時は逃げ去る（Tempus fugit）の格言通り、あっという間の26年であったと実感しています。最初に配属されたのは教務委員会でした。当時は教務委

員が時間割を作っており、手探り状態の中、長時間議論してやっと完成させたことも、古い書類を見て蘇った記憶の一つです。

開学後しばらくの間、試験問題はタイプライターで打っていました。90年代に入るとパソコンの時代になりましたが、当時のパソコンは起動させるのが面倒でかなりの間タイプライターに頼っていました。パソコンに切り替えたのは90年代末で、パソコンの指南役がマック派だったので私もノート型のマックを買いましたが、容量はわずか2ギガバイトでした。研究室にある現在のiMacは三台目ですが、技術的なことはさっぱり解らないので、正確に言えば覚える気がないので、不調のたびに電算関係の諸先生を煩わせて難を逃れていました。これは心苦しい記憶の一例です。

4階の研究室から阿寒の山々の四季の変遷を眼にし、日本製紙の煙突から出る煙で風向を確認した26年間でしたが、四月からは東京のマンションからビルの谷間の富士山とスカイツリーの先端部分を眺める日々となります。

## 新任教員紹介

●なかむら中村 たかみ隆文 〈准教授〉 「哲学」「倫理学」担当



## カナダ・キャピラノ大学派遣

経済学科3年 高野 萌

幼い頃からの夢であった留学は、私の人生を大きく変えるものとなりました。英語があまり話せない状態でカナダへ行った私は、最初は苦労の連続でした。辛い思いもしたし、悔しくて泣いたりもしました。しか

し、人種を越えて沢山の人たちが助けてくれました。そのおかげで、最初感じていた不安はいつの間にか消え去り、楽しさ変わっていきました。留学先がバンクーバーだったということもすごく良かったと思います。バンクーバーは、世界中の人々が集まる土地なので、沢山の異文化に触れることができる面白いところ。これほど刺激的な4か月は今までありませんでした。今しかできないこの留学は、本当に良い経験となりました。



## カナダ・キャピラノ大学派遣

経営学科3年 土田 栞

カナダでの4か月間はとても充実したものでした。最初はなかなか言葉が通じず悔しい思いもしました。友人や先生、ホストファミリーなど多くの方々に支え

られ、しだいに自然に会話できるようになりました。また留学を通じて様々な国の人と知り合い、それぞれの習慣や風習を知ると同時に、日本について考える機会が増え、視野が広がりました。

見知らぬ人と会話を楽しんだり、困っている人がいたら助けてあげるバンクーバーに居心地の良さを感じながら過ごすことができました。このような貴重な経験を積めたことに感謝しています。



## カナダ・キャピラノ大学派遣

経営学科3年 氏原 光

私は、留学を通じて英語と多文化共存の大切さを実感しました。カナダ到着直後は一つの英単語を口から出すことすら精一杯でした。ホストファミリーやクラ

スメイト、先生との積極的なコミュニケーションにより、自然と英会話力が上達すると共に、互いの国の文化を共有することで新たな発見が生まれました。授業では、文法読解のみならず、レポート報告やプレゼンテーションにおいて実践的な力を養いました。また、大学主催のイベントに参加することで多くの仲間に出会いました。今回の貴重な経験を踏まえ、今後の進路選択に生かすつもりです。



## 大韓民国・牧園大学派遣

経営学科3年 菅原 由莉奈

高校生の時から夢みてきた留学。今思うと、夢だったのではないかとと思うほど本当に充実したものとなりました。留学した当初は、「話したいのに話せない。」

というとても悔しい思いもしました。夏休みに自主的にひとりでソウルの語学堂に通い、いろいろなところに旅行に行ったりして過ごしているうちに韓国語の力も上がっていき、次第に韓国語を話すのが楽しいと感じられるようにもなりました。留学したおかげで、自分自身が大きく成長し、留学の機会なくしては出会うことのなかったたくさんの国の友達ができ、世界が広がりました。留学できたことに心から感謝しています。



## 大韓民国・牧園大学派遣

経営学科4年 下斗米 智和

一年間の留学は、これまでにないほどの大きな挑戦でした。留学当初は入門レベルの韓国語しかできず言葉の壁を痛感しました。また、生まれ育った環境が異なると人間性も日本人とは全く異なり、それに戸惑い、悩む時期が続きました。しかし、毎日生活を共に過ごしたルームメイトのサポートにより私の語学力は次第

に向上し、当初抱いていた悩みも克服することができました。さらに学校で知り合った友人、地域の交流会で知り合った人たちの支えもあり、私の留学生活はとても楽しく充実したものとなりました。韓国で知り合った友人達とは、これからの将来も長く関わっていきたいと考えているので、私も韓国語の勉強を継続して取り組んでいきたいと思います。

今回の留学を通じて多くのことを学び、私にとって貴重な経験になりました。最後になりますが、留学に際してご支援くださった皆様に厚く御礼申し上げます。



## ロシア連邦・ユジノサハリンスク 経済法律情報大学派遣

経済学科4年 前田 真之祐

ロシア連邦は世界一の面積を誇り、日本にはない資源が豊富に眠る国です。そして今後経済発展が期待さ

れています。隣国の大国ロシアの動向をじかに見るため、私はサハリンへ留学しました。サハリンでの生活は厳しい面も多かったですが、多くの友人に恵まれ楽しく乗り越えることができました。留学を通して、北海道の新たな可能性を学び、人間的に大きく成長できたと思います。



## ロシア連邦・ユジノサハリンスク 経済法律情報大学派遣

経営学科4年 田中 昌徳

ユジノサハリンスクでの生活は、長い様であつという間でした。いろいろと日本とは異なる土地柄で、初めは慣れるまで焦りました。今思えばそのようなこと

も含め、貴重な経験が多くできたと思います。留学先で、ロシア語や生活文化を学び、多くの人達との出会い、日本には日本なりの良さ、ロシアにはロシアなりの良さがあるということに気付きました。

いろいろあつた留学は終わってしまいました。今回の留学に当たっては、宮崎先生をはじめとする公立大教職員の方々に感謝しております。ありがとうございました。



## 台湾・明道大学派遣

経営学科4年 加我 諭志

私の台湾での一年間は環境に恵まれ、人生最高の経験となりました。もともと中国語は台湾に行く前にも勉強しておりました。しかし現地についてみると意思疎通に困る事もあり、最初の半年は英語でコミュニケーションをとることが多かったです。しかし友人と一緒にご飯を食べに行ったり、積極的にイベントに参加したり、授業以外での場面で徐々に語学を身につけて

行きました。

言語学習は授業でのインプットと授業以外でのアウトプットが必要で、台湾の明道大学では、その両方をバランス良く実行する環境が整っておりました。

留学に興味の無い方や、また、躊躇している人にも是非在学中に留学の経験をしてみる事をお勧めします。

中国語に「任何的限制，都是從自己的内心開始的」という言葉があります。出来る、出来ないは自分自身が決めてしまっているという意味です。

何事にも全力でチャレンジしてみてください！加油！

# 大学ニュース

## — 平成25年度を振り返って —

- 4月1日(月) 交換留学生来日  
韓国の牧園大学より姜 현아(カン ヒョナ)さんと姜 美正(カン ミジョン)さんが本学の交換留学生として来日した。
- 4月9日(火) 第26回入学式  
午前10時より本学26期生の入学式が挙行され、313名(経済学科209名、経営学科104名、男237名、女76名)が晴れて入学した。
- 8月3日(土) オープン・キャンパス  
本学の関心を高めてもらうため、オープン・キャンパスを開催。今年で17回目となり、286名の参加者は熱心に話を聞いていた。
- 9月1日(日) 交換留学生来日  
台湾の明道大学より楊 侑婷(ヤン ユーティン)さんと張 家祥(チャン ジャーシアン)さんが、ロシアのユジノサハリンスク経済法律情報大学よりВяткина Евгения(ヴァートキナ エヴゲーニヤ)さんとОганесян Мане(オガネシヤン マネ)さんが本学の交換留学生として来日した。
- 10月9日(水)～11月7日(木) 公開講座  
平成25年度の公開講座を本学の加藤和暢教授、小林聡史教授、大澤勝文教授、辻信幸准教授がそれぞれ個別のテーマで講演を行った。
- 10月11日(金)～13日(日) KPUフェスタ(大学祭)

今まで積み上げてきた実績と経験に趣向を凝らした様々なイベントが催され、より一層、盛況なものとなった。

- 11月15日(金) 特別講演会  
南山大学外国語学部英米学科准教授山岸敬和氏より「オバマケアとアメリカ」というテーマで講演があった。
- 11月21日(木) 平成26年度特別選抜試験  
全国より130名(経済学科81名、経営学科49名)が試験に臨んだ。その結果109名が合格した。
- 12月11日(水) 特別講演会  
北海道大学大学院保健科学研究所/医学部保健学科教授小笠原克彦氏より「健康情報学Health Informaticsの挑戦：これからの日本と社会イノベーション」というテーマで講演があった。
- 平成26年度一般入試(前期日程)  
大学入試センター試験をもって選考。503名(経済学科360名、経営学科143名)の志願者があり、3月5日(水)に合格発表が行われた。
- 3月8日(土) 平成26年度一般入学試験  
[公立大学中期日程]  
釧路・札幌・盛岡・東京・大阪の5会場にて実施。1,136名(経済学科792名、経営学科344名)の志願者があり、3月21日(金)に合格発表が行われた。
- 3月22日(土) 平成25年度学位記授与式  
第23期の卒業生320名が公立大生として堂々と学位記の授与を受け、さらに成績優秀な5名が特別表彰された。式の終了後、卒業生は学友と記念撮影などをし、別れを惜しみながら巣立っていった。

# 入|学|お|め|で|と|う

## 体 育 会

体育会会長

川合 健文



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。釧路公立大学へようこそ。

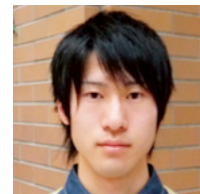
これから始まる大学生活では、おそらくみなさんが考えているより何倍も自由な生活が待っています。どの科目を学ぶのか、講義以外の時間を何に費やすかはみなさんの自由です。時間の使い方次第で、大学生活の秘めている可能性は無限大に広がっています。いろいろな人に出会い、その出会いから今まで知り得なかった多くの事を学んでください。今日から4年間、この釧路で過ごす時間がみなさんにとって有意義なものになることを祈っています。

さて最も身近な出会いの場として、部活動やサークル活動があります。釧路公立大学には高校までには無かった活動をしている団体が多くあります。その中で高校時代に所属していた部活動に参加してより一層の技術の向上を目指すのもいいですし、大学で新しく興味を持ったことを見つけ、それに挑戦してみるのもいいでしょう。また、カーリングやアイスホッケーなどの北海道ならではの競技や文化を楽しむことができるものや、社会人チームとの交流を積極的に行っている団体もあります。これらの活動を経て得られる経験や出会いは、きっとかけがえのないものとなるでしょう。まずは様々な部活動やサークルの活動を見学してみて、自分の興味や関心の幅を広げてみてはいかがでしょうか。そこで興味を持ったことが1つでも2つでも3つでも構いません。大学生活には時間がたくさんあります。自分がやりたいと思ったことには何でも挑戦して、どんどん新しい自分を発見してみてください。

## 文 化 部 会

文化部会会長

伊豫部 晶人



この春から新たに釧路公立大学の学生となる皆さん、入学おめでとうございます。

皆さんはこれから始まる大学生活に大きな期待を持っていることでしょう。反面、これからの4年間をどのように過ごせば良いのだろうか、不安を感じていると思います。そこで、私は皆さんにサークルや部活動、同好会等の学生団体に参加することをお勧めします。

学生団体は人間関係形成の最も身近な場です。積極的に学生団体に参加し、他者とふれ合いましょう。そこで知り合った先輩や同級生の仲間たちは必ずこれからの生活の助けとなります。

また、学生団体には学年や性別、出身地、国籍が異なった様々な人が所属しています。そのような人たちと関わりを持つことで良い刺激を受け、人間的に成長することが出来るでしょう。

本学には多種多様な学生団体があります。今まで経験のある活動をするのも良いですし、全く新しいことを始めてみるのも良いのではないのでしょうか。是非各団体を見学し、興味の有るものを見つけてください。私達は歓迎します。

大学生活はこれまでの学生生活とは違い自由な時間が多くあります。とはいえ何もしなければあっという間に過ぎ去ってしまいます。多いようで少ない限られた時間の中で何をすることが重要です。その時間の中で自ら行動し、たくさんの人と出会い、たくさんの思い出を作り、有意義に過ごしてください。そして、その中で社会に出ていくための力を身に付けていきましょう。皆さんの釧路公立大学での生活を心より応援しています。

### <体育会>

男子アイスホッケー部  
硬式テニス部  
硬式野球部  
サッカー部  
準硬式野球部  
卓球部  
男子バドミントン部  
女子アイスホッケー部  
男子バレーボール部  
男子ハンドボール部  
アメリカンフットボール部  
弓道部  
剣道部  
女子バレーボール部  
男子ソフトボール部  
女子バスケットボール部  
柔道部  
ラクビー部  
陸上競技部  
ソフトテニス部  
女子ソフトボール部  
女子バドミントン部  
合気道部  
フットサル部  
カーリング部(SToNeカーラース)  
女子ハンドボール部

### <文化部会>

軽音楽部  
放送研究部Visions  
美術部やちぼうず会  
カヌー部BOW  
茶道部  
吹奏楽部  
TRPG研究会  
ボランティアサークル  
写真部  
スノーボード部  
囲碁部  
書道部  
演劇部  
ストリートダンスサークルOZ  
軟式野球部  
キャンピーイング部  
天体観測部@ハウス  
国際交流部  
旅行部  
フロアボールサークル  
NB A同好会  
弦楽アンサンブル  
Study Production J  
ビリヤード部  
女子フットサル☆CBS  
釧路公立大学YOSAKOIソーランサークル  
K.F.C部(釧路フィッシングクラブ)  
K-SCAN  
ソフトラクロスサークル  
ミニバレーサークル  
釧路観光隊  
KYC(Kushiro Training Club)  
釧路公立大学ソフトダーツ部  
スケートサークル  
釧路公立大学アカペ  
ラコーラスサークル  
Freiheit

# 就 職 戦 線 最 新 情 報

大学生の就職状況は、リーマンショック前の07年の水準に迫ってきたとの報道もあります。企業が厳選採用の姿勢は崩さず、優秀な人材を採用しようとする傾向は地方の国立大学に注目しています。輩出した卒業生が高い評価を得ていることもあり、本学にも多くの企業から求人が届き、前年同期を上回る内定率に繋がっています。

一方、昨年9月には、大学生の就職活動の新しいルールが発表されました。現行3年生の12月からだった就活解禁時期を3年生の3月に、選考を始める時期は4年生の4月から8月に遅らせるというものです。これは新3年生から適用されますが、社会人基礎力が求められる現代において、本学としては、学生一人ひとりが自立した人間として社会へ出て行くための講座等を実施することで、学生たちが不安なく就活に向かえるようサポートをしていきます。

現在は新4年生の就職活動が本格化しています。学内のキャリアセンターや札幌の「サテライトスペース」、また、道外11か所で行っている「学職カフェ」を活用し、大学生生活で培った多くの経験と知識を生かし、自信を持って就職活動を進め、内定を獲得してほしいと思っています。

## 卒業生の内定先リスト (現在の内定状況) 2014/03/22

- 建設業 アーニストホーム、ハシモトホーム、秋田ハウス、住友不動産リフォーム、新生ホームサービス、村井建設、多田塗装工業、夢真ホールディングス
- 製造業 アステラス製薬、エフソニアトミックス、パベル、フォーデイス、リンナイ、科研製薬、宏和工業、杉沢薬品、太子食品工業、東光薬品工業、日の出工業、武田薬品工業、北海道フーズ、北海道糖業
- 卸売・小売業 UDトラックス道東、イオン北海道、いわて生活協同組合、エーツー、オリンピック、コーヨー日輪、サッポロドラッグストア、シマ商会、セイコーマート、セブンイレブン、ジャパン、ツルハ、テーオー小笠原、デンコードー、フィールズ、フジタコーポレーション、プロダクト北海道、ホーマック、ホーマックニコット、ほくやく、ムトウ、メガネトップ、ユニバース、ライフネットワーク、ライフフーズ、リリアアブル、岩崎、久慈琥珀、釧路トヨタ自動車、札幌アポロ石油、三ツ星商会、三ツ輪商会、山田機械工業、寺岡北海道、松屋商事、管文、青木商店、多久販売、丹波屋、渡辺パイプ、東北北海道いすゞ自動車、日の丸産業社、富士ゼロックス北海道、福原、北海道クボタ、北海道コカ・コーラボトリング、北海道三菱自動車販売、北海道ダイハツ販売
- 金融・保険業 SMBCフレンド証券、みずほ証券、みちのく銀行、ゆうちょ銀行、リリーほくと商事、旭川信用金庫、茨城県信用組合、遠軽信用金庫、岡二証券、空知信用金庫、釧路信用金庫、江差信用金庫、室蘭信用金庫、盛岡信用金庫、帯広信用金庫、大光銀行、大地みらい信用金庫、第一生命保険、第四銀行、稚内信用金庫、渡島信用金庫、東京海上日動火災保険、苫小牧信用金庫、日本生命保険、磐田信用金庫、北海道信用農業協同組合連合会、北海道信用農業協同組合連合会、北海道労働金庫、北見信用金庫、北日本銀行、北洋銀行、北陸銀行、網走信用金庫
- 運輸・情報通信 アイ・ティエー、シーネットワーク、アイティ・コミュニケーションズ、エス・ピー・システムズ、エス・ティ・ティ北海道テレマート、エフブレイン、サカイ引越センター、ジェネス、ジャパンテクニカルソフトウェア、ホープス、ライナナコミュニケーションズ、リンケージサービス、ロジネットジャパン、医療システムズ、札幌定温運輸、大家商会、鷹栖運輸機工、富士通エフ・アイ・ピー、富士通エフ・エス、富士通エフ・エス・シー、北海道CSK、北海道新聞社、北海道日本電気ソフトウェア、北海道旅客鉄道
- 電力・ガス エネサンス北海道、ほくでんサービス、釧路ガス、北海道エア・ウォーター
- 不動産業 S Rコーポレーション、アパマンショップホールディングス、ビッグ、ブランドゥ、北海道リース、北海道空港
- サービス A N A新千歳空港、J T B北海道、あいち中央農業協同組合、アルムシステム、ヴァリアント、ヴァリック、エスアールエル・メディサーチ、タカハシ、トラネネット、ファミリ

ー、ベガスベガス、ベスト学院、ほくとう、ホクレン農業協同組合連合会、ホテル御前水、阿寒グランドホテル、杏林会、釧路商工会議所、計根別農業協同組合、五代目円案一門会、三ツ星レストランシステム、十勝池田町農業協同組合、新和、進学会、清里町農業協同組合、全国共済農業協同組合連合会北海道本部、如床グランドホテル、天使病院、電電虫、東美濃農業協同組合、日本年金機構、美瑛町農業協同組合、美幌町農業協同組合、文理学院、平和マネキン、豊頃町農業協同組合、北海道アルパイト情報社、北海道労働者医療協会、紋別プリンスホテル、野口観光

- 国家公務 国家公務員一般職(釧路地方支局帯広支局)、海上自衛隊(一般曹候補生)、刑務官
- 地方公務 福島県庁(行政事務)、北海道庁(一般行政)、北海道庁(警察行政)、宮城県庁(学校事務)、江別市役所、帯広市役所、上山市役所、久慈市役所、釧路市役所、五泉市役所、佐野市役所、札幌市役所、札幌市役所(学校事務)、伊達市役所、千歳市役所、苫小牧市役所、室蘭市役所、鹿追町役場、斜里町役場、弟子屈町役場、警視庁、青森県警察、岩手県警察、岐阜県警察、栃木県警察、長野県警察、久慈市消防、釧路市役所(消防)
- 教員 学校法人野又学園、岩手県公立学校教員
- 進学 秋田大学大学院、筑波大学大学院、兵庫県立大学大学院、北海道教育大学教職大学院、鳴門教育大学大学院

## 平成25年度卒業予定者の就職状況

1. 求人数及び内定状況 平成26年3月22日現在

区分	求人件数	卒業(予定)数	就職希望者数	内定者数	内定率(%)	未定者数
男子	242	212	200	94.3	12	
女子	81	78	70	89.7	8	
共用	950	—	—	—	—	
合計	950	323	290	93.1	20	

## 2. 進路別内定状況

進路	男子				女子				計			
	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%
民間	173	161	12	93.1	73	65	8	89.0	246	226	20	91.9
公務	37	37	0	100.0	5	5	0	100.0	42	42	0	100.0
教員	2	2	0	100.0	0	0	0	0	2	2	0	100.0
計	212	200	12	94.3	78	70	8	89.7	290	270	20	93.1
進学	5	5	0	100.0	0	0	0	0	5	5	0	100.0
その他進学	2	2	0	100.0	0	0	0	0	2	2	0	100.0
無業	22	—	22	0.0	2	—	2	0.0	24	0	24	0.0
計	29	7	22	24.1	2	0	2	0.0	31	7	24	22.6
合計	241	207	34	85.9	80	70	10	87.5	321	277	44	86.3

## 3. 産業別地域別内定状況

業種	釧路管内		北海道内		北海道外		計		割合	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	合計			
製造	3	1	2	1	12	6	17	8	25	9.3
卸売・小売	4	1	30	8	12	8	46	17	63	23.3
金融・保険	4	1	24	11	7	8	35	20	55	20.4
運輸・情報	—	—	12	3	8	3	20	6	26	9.6
電力・ガス	1	—	4	—	—	—	5	0	5	1.9
サービス	3	2	20	8	17	4	40	14	54	20.0
公務	10	—	15	2	12	3	37	5	42	15.6
計	25	5	107	33	68	32	200	70	270	—
合計	25	5	107	33	68	32	200	70	270	100.0
割合	30	—	140	—	100	—	270	—	—	—

# 平成26年度年間スケジュール

- |                     |                        |                     |
|---------------------|------------------------|---------------------|
| 4月1日……学年始め          | 9月24日……後期授業開始          | 1月28日……後期定期試験(2/5迄) |
| 10日……入学式            | 10月10日……大学祭(K P Uフェスタ) | 3月3日……卒業生発表         |
| 11日……オリエンテーション      | (10/12迄)               | 8日……平成27年度一般選抜試験    |
| 14日……前期授業開始         | 11月20日……平成27年度特別選抜試験   | 16日……春期休業開始         |
| 6月25日……開学記念日        | 12月23日……冬期休業開始(1/9迄)   | 23日……学位記授与式         |
| 7月25日……前期定期試験(8/1迄) | 平成27年                  | 31日……後期終了           |
| 8月2日……夏期休業開始(9/22迄) | 1月13日……授業開始            |                     |
| 9月22日……前期終了         |                        |                     |

## ◎平成26年度前期授業料について

前期授業料は4月30日までに納めてください。最寄の金融機関から、同封の「納入通知書兼領収書」でお振込みください。特別な事情により授業料の分割納付や減免を希望される場合は、学年毎に指定された受付日に関係書類を提出してください。

## 編集後記

春は別れと出会いの季節といいますが、毎年多くの学生が卒業していく3月は、静まり返ったキャンパスと同じように、私の心にもぽっかり穴を開けます。いや、去っていくのは学生ばかりではありません。今春、開学当初から活躍されてきた棧先生が定年を迎えられました。偶然ですが、私の学部、大学院の師とともに棧先生と同じ1948年生まれでした。英文学者の外山滋比古が師の影を踏まないでいられる「三尺」のへだたりを年齢に翻訳すると「20年以上30年以内」に当たるのだと書いています。棧先生の世代と私(1971年生まれ)、そして私といまの大学生とはちょうどその年齢差、師弟関係には理想的なのかもしれません。感傷に浸る間もなく暦はもう4月、「始まり」の季節です。新しい学生との出会いに期待しつつ、まずは旅立つ皆さんに幸多かれ!

釧路公立大学だより 第49号

平成26年4月1日発行

◎発行元

釧路公立大学

〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号

TEL 0154-37-3211(代)

FAX 0154-37-3287

学生課: TEL 0154-37-5091

URL: http://www.kushiro-pu.ac.jp/

◎発行日

毎年2回(4月1日、10月1日)